

紫式部プロジェクト

令和6年度事業実績報告

光る君へ 越前 大河ドラマ館



光る君へ 越前 大河ドラマ館

開催期間 2月23日～12月30日（合計312日間）

入場者数 16万1614人

<傾向> 団体35% 個人65%
県外からの来訪者が約7割
50代以上が6割以上
自家用車が7割

※P.6に参考情報あり

リニューアル

ドラマの放送にあわせ、3回リニューアル

6月28日 越前編の放送内容を反映しリニューアル
(4Kシアター、衣装、小道具、特集パネル、など)

9月21日 衣装展示のリニューアル

10月23日 「越前和紙と源氏物語」展示追加
※その他、キャストや関係者の来館にあわせ、サイン色紙など追加



展示物の一部を「紫ゆかりの館」で展示予定

展示期間 3月18日～ ※定期的に展示入替え

- 展示物
- ・藤原為時、紫式部の書道具
 - ・紫式部の歌
 - ・越前和紙の束
 - ・特集パネル「光る君へ」が描いた越前
 - ・来館記念サイン(柄本佑氏、矢部太郎氏、根本知氏、諫山恵実氏)
 - ・根本知氏 作品
 - ・諫山恵実氏 作品
 - ・越前国府セット 紙模型

ほか



光る君へ 越前 大河ドラマ館（参考 来館者属性）

合計4回のアンケート結果から抜粋（3/23-24、6/8-9、9/21-22、10/26-27）

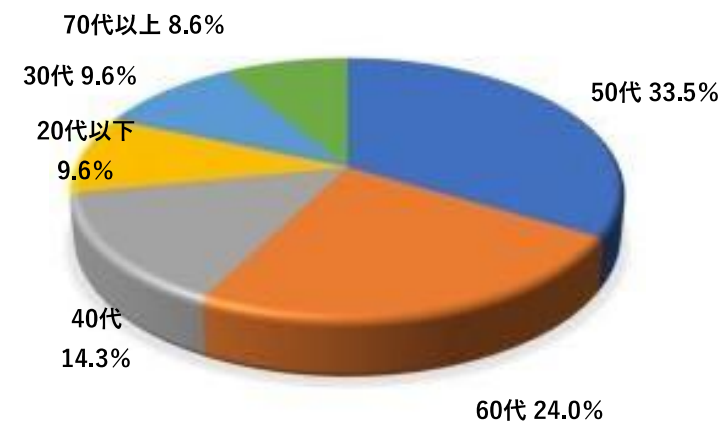
■居住地 県外からの来訪者が約7割

中部	23.7%
越前市を除く福井県	18.8%
関西	14.1%
石川県	10.5%
越前市	8.7%
富山県	6.4%
東京	6.4%
その他	11.4%
合計	100%



■年代 50代以上が6割以上

50代	33.5%
60代	24.0%
40代	14.3%
20代以下	9.6%
30代	9.9%
70代以上	8.6%
合計	100%



■交通手段 自家用車が7割

自家用車	70.5%
北陸新幹線	9.1%
ハピラインふくい	8.9%
その他	11.4%
合計	100%



歴史展示「紫式部 想創庵」／ お土産処 光る越前SHOP



歴史展示「紫式部 想創庵」

- ・ 幻想空間で、紫式部が越前国で得た創作の感覚の疑似体験
- ・ 越前和紙製のメッセージメモ 2万枚以上
- ・ 令和6年度 能登半島地震 災害義援金

募金期間 2/23～12/25

募金額 336,966円

日本赤十字社福井支部 越前市地区へ寄付



お土産処 光る越前SHOP

- ・ 紫式部関連のお土産や地場産品を取り揃えたショップ

(参考)

- ・ 平安ゆかりのキャラクター使用申請 163件
- ・ 紫式部関連商品開発に対する市補助金の活用 47件

「光る君へ」で印象深く描かれた、越前国府と越前和紙



「越前和紙」で開眼？紙の表現にこだわった紫式部

まひろは越前で、名産の和紙作りの現場を見学する機会に恵まれました。「読み書き」を愛好するまひろが優れた紙に驚くのは、当然のことでしょう。目を丸くして輝かせるまひろの表情。吉高由里子さんのさすがの演技でした。



この時期の紫式部の暮らしに関する史料はほとんどなく、ドラマのように越前和紙と接点があったかどうかは分かりませんが、のちの『源氏物語』には、紙の色や品質に関する記述が目立つのです。



(引用:美術展ナビ)

紫式部と越前、越前和紙の深い縁が広く認知

・越前国府や松原客館、越前和紙の紙漉き農家が登場

第21回(5月26日放送)～第25回(6月23日放送)

- ・越前和紙職人が出演。本物の技を全国へ届ける
- ・紫式部が、越前で「紙の美しさ」に心躍らされる様子が描かれた

・都に戻った後も、越前和紙が忘れられない紫式部

第27回(7月14日放送)

- ・「越前には美しい紙があります。私もいつか、あんな美しい紙に歌や物語を書いてみたいと思っています」

・源氏物語が執筆された越前和紙

第31回(8月18日放送)

- ・道長から大量の越前和紙が届けられ、源氏物語が執筆された
- ・当時から、越前に上質な紙漉き技術があったことが広く認知

「光る君へ」視聴人数（参考）



▲NHKホームページより



▲NHKホームページより

大河ドラマ本編

視聴人数 期間平均1,730.5万人

※ビデオリサーチ調べ

総合・BS合計のリアルタイム視聴＋NHKプラス配信などタイムシフト視聴

- ・全48回放送の平均世帯視聴率 ※ビデオリサーチ調べ

関東地区	10.7%
関西地区	9.9%
福井地区	17.2%
名古屋地区	11.3%

- ・NHKプラスでの配信結果 ※NHK発表
平均視聴UB(ユニーク・ブラウザ)数 37.9万UB
歴代大河ドラマ最高の記録

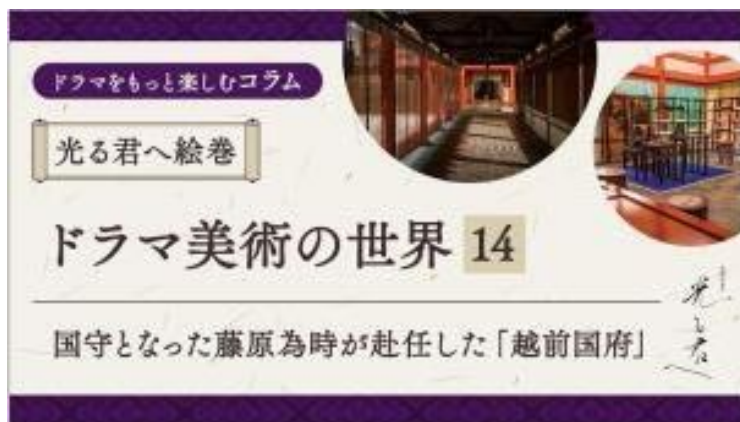
- ・6話(第21～25回、第31回)にわたり、越前や越前和紙を取りあげた放送



美術セットに関する公開セミナー

- ・ 開催日 6月9日
- ・ 県内外から約130名が参加

越前編放送にあわせ、美術セットの制作陣による講演
ドラマの舞台裏を知り、当時の暮らしや文化の理解を深める



越前編パブリックビューイング&トークショー



越前編パブリックビューイング&トークショー

- ・開催日 6月16日
- ・県内外から約1,000名が参加(応募数:7,000名以上)

ゲストに吉高由里子さん、岸谷五朗さん(2度目の来市)
越前編の放送秘話
越前市を巡ったことなどトーク



8/3(土)は越前和紙の産地で3つの企画が楽しめます！

越前和紙で 行灯づくり

親子で
作ろう！

参加
無料

好きな和紙を選び、木枠に貼り付けて行灯をつくるイベントです。
ワークショップや学芸員さんの話を通して、越前和紙を知ることができます。夏休みの自由研究にもピッタリです！

8.3(土) 10:00～ / 11:00～
各回15組まで

会場:越前市いまだて芸術館

小学生以上の方を対象にしたワークショップです。
参加費は、無料です。一時的にお持ち帰りいただけます。
申し込みは、お電話にてお申し込みください。お申し込みは、お電話にてお申し込みください。
イベントの詳細、お申し込みは、お電話にてお申し込みください。
講師: 横山 恵子さん (越前和紙職人)

問い合わせ
寫式部プロジェクト推進協議会/越前市ブランド戦略課 (22-3016)

越前和紙で行灯づくり

- ・ 開催日 8月3日
- ・ 市内外から30組の親子が参加

市学芸員、和紙職人から「透かし」の和紙についてミニトーク
制作した行灯は、神社ライトアップで展示





越前和紙×竹灯り 岡太神社・大瀧神社あかりイベント

- ・開催日 8月3日～4日
- ・県内外から2日間で約1,000名が来訪

市内の竹細工業者による竹灯りライトアップ

地区の協力で石灯籠の点灯、親子ワークショップの和紙行灯も加わり幻想的な空間イベントに





「光る君へ」題字・書道指導 根本知氏イベント

- ・開催日 9月15日
- ・県内外から約30名が参加

書家の根本氏から見た越前和紙の魅力に関するトーク
越前和紙にかな文字を書くワークショップ





「紫式部の旅」

紫式部と藤原為時一行が辿った道に想いをはせる旅

- ・ 実施期間 10月18日～20日
- ・ 京都府宇治市、滋賀県大津市、敦賀市、南越前町、越前市で「紫式部の旅」再現行列が無事に実施
- ・ 当時の衣装を身にまとった参加者が行列や儀式を再現
- ・ 旅を見学するツアー実施、フォトコンテストを同時開催
- ・ 多くの方に「紫式部が暮らした越前市」「越前への旅で得たこと」を印象付けた

主催 紫式部プロジェクト推進協議会、越前市
共催 宇治市、大津市、敦賀市、南越前町
監修 龐谷寿先生、福嶋昭治先生
衣装 日本民族衣装源流会(代表:三田村まつゑ氏)

3日間の
プロモーション映像



紫式部の旅（参考 当日の様子）

京都府宇治市



滋賀県大津市



紫式部の旅（参考 当日の様子）

敦賀市



南越前町



紫式部の旅（参考 当日の様子）

越前市



**越前和紙に舞う
平安の彩り**
～日本画家が語る雅の情景～

2024年
11月23日(土)
時間: 13:30～16:00 (受付13:00)
会場: 御堂 陽順寺 (越前市本町3-10)

第1部 トークイベント
(13:30～14:30)
トークテーマ
大河ドラマ「光る君へ」の色彩からみる
平安の魅力や、越前和紙と日本画について

出演
大河ドラマ「光る君へ」衣装デザイン・日本画家 諫山 恵実氏
越前和紙職人 (株式会社宮野平三越前紙所) 岩野麻貴子氏
モデレーター 杉原 清氏
共催: NHK 福井放送局

第2部 ライブペインティング
(15:00～16:00)
紫式部も見たであろう越前市の自然を
イメージした作品を越前和紙に描きます。

お茶会開催
越前市文化・芸術振興会
12:00～15:00
(12:00～15:00)
1席600円 (税別)
50名

主催 紫式部プロジェクト推進協議会
越前市ブランド戦略課 TEL: 0776-22-3016 Mail: brand@city.yamanashi.jp

「光る君へ」衣装デザイン 諫山恵実氏イベント

- ・開催日 11月23日
- ・県内外から約60名が参加

日本画家の諫山氏と越前和紙職人によるドラマ衣装の色彩や、「越前和紙と日本画」に関するトーク

菊からインスピレーションを受け、菊慈童をイメージしたライブペインティング



**平安時代から続く、
香の文化**
～源氏物語と香り～

2024年
11月24日(日)
時間：13:20～15:30 (受付13:00)
会場：御堂 陽耀寺 (越前市本町3-10)

参加無料
定員 **80名**
お申し込み
お申し込み
お申し込み

第1部 箏と尺八の調べ
(13:20～13:50)
演奏
琴曲たまゆら会
武生竹友会

第2部 講演会
(14:00～15:30)
トークテーマ
源氏物語と香り
出演
香老舗 松栄堂 主人 横 正高氏

お茶会開催
越前市ゆかりの会館で開催
表千家 高坂社中
12:00～16:00
(お茶代500円)

1席600円 (お茶代500円)
お申し込み

協賛
市の文化財特別支援
うしろアプル市民コンサート
★ライトアップ
17:30～19:15
★高岡コンサート
18:00～19:15
お申し込み

紫式部プロジェクト推進協議会
越前市プラント事務局 TEL: 0774-22-3015 Mail: kashiki@city.eyu.ac.jp

香老舗 松栄堂とのコラボイベント

- ・開催日 11月24日
- ・県内外から約80名が参加

約300年前から京都でお香づくりを続ける、香老舗 松栄堂
による「源氏物語と香り」に関する講演

市内団体による、「箏と尺八の調べ」や「お茶会」も開催し、
日本文化を五感を使って感じる内容



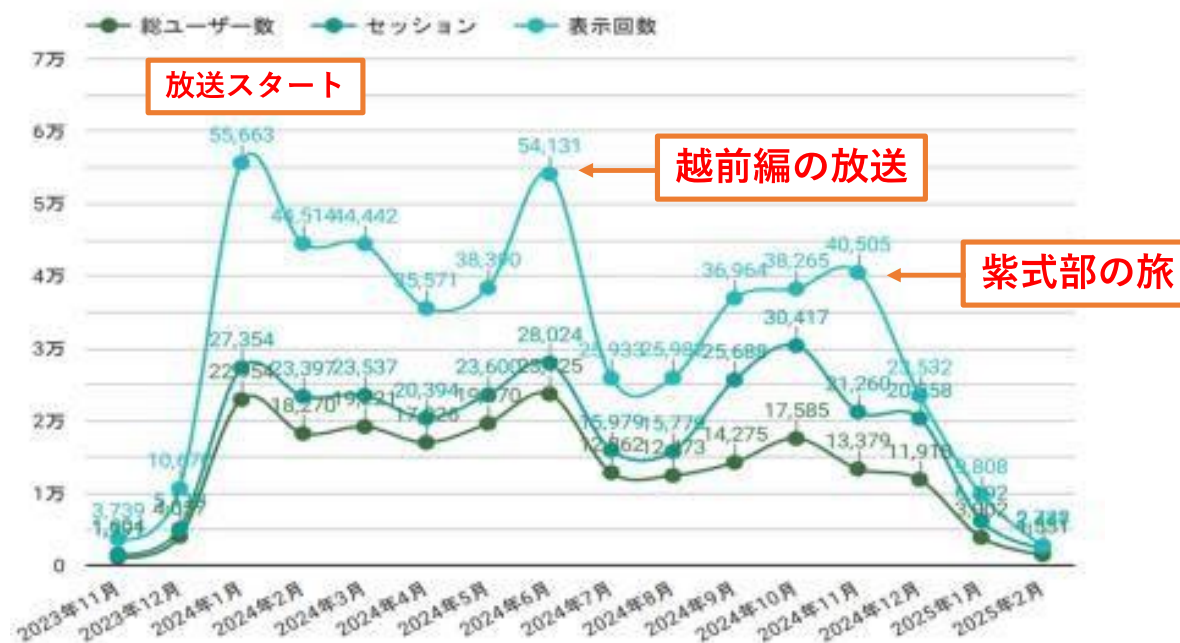
紫式部ゆかりの3市連携事業(観光周遊・情報発信)



3市ホームページ「かいまみる紫式部」

- ・ 公開期間 2023年11月15日～
- ・ 閲覧数 204,500名のユーザーが閲覧
490,000ページビュー

※次年度も公開を継続予定



3府県・3市・交通機関連携事業(観光周遊・情報発信)



「めぐり逢ひて、紫式部」 デジタルスタンプラリー 京都・滋賀・福井編

- ・ 実施期間 4月26日～9月29日
- ・ スタンプポイントは、30か所(県内7か所)
越前市 大河ドラマ館、紫ゆかりの館、越前和紙の里、越前たけふ駅
県内 氣比神宮、若狭姫神社、おおい町歴史会館
- ・ 参加実績 3府県あわせて9,061スタンプ
うち、福井県内1,905スタンプ(越前市1,332/県内573)

主催 京都府・宇治市・福井県・越前市・滋賀県・大津市
JR西日本・嵐電・京阪HD



- 企画にあわせ、嵐山駅で地域PRブースを設置
- ・ 4月1日～12月末まで、
 - ・ PRブース来場は3万人(カメラ人数カウント)

越前国府発掘調査(5か年計画)



越前国府発掘調査

延べ600名以上の発掘ボランティアが調査に協力

<進捗>

令和5年度(5か年計画の1年目)

- ・ 国府に関連する区画溝の可能性がある溝や、緑釉陶器や須恵器、文字が書かれた墨書土器 ⇒ 役人の存在が浮かび上がる

令和6年度(5か年計画の2年目)

- ・ 区画溝の延長を確認(溝のコーナーの確認には至らず)
⇒ 溝の位置から、施設の敷地は区画溝の南側に広がる可能性
- ・ 出土品から付近で貴族や役人が仕事や生活をしていたと思われる

<公開>

- ・ 公会堂記念館での速報展
- ・ AR利用者数 約400人
- ・ VR遺跡見学者数 約760人

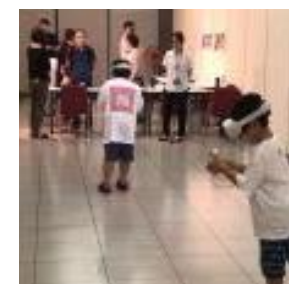
←5月~7月頃

区画溝に囲まれる想定約100m四方のエリア内で
建物跡を探す計画(現在の本興寺駐車場あたり)

調査地の説明板、ARの利用



VRによる遺跡見学



第35回源氏物語アカデミー



第35回源氏物語アカデミー

- ・ 期間 10月25日～27日
- ・ テーマ 「源氏物語と越前」

3日間で23都道府県から、約150人が参加
 ドラマの衣装デザイン 諫山恵実氏と朧谷氏の対談が一般公開
 研究者の講義、平安時代の食を再現した宴席など多彩な企画

開催日	時 間	内 容	登 壇 者
10/25 日	18:00 18:15	開 講 式	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	18:20 19:20	講 義「愛憎と夢源為時」 明治女子大学文学部教授 藤 田 寛 子 氏	
	19:30 20:30	特 別 公開「越前国府跡発掘調査のあゆみ」 越前市教育委員会生活課長 佐々木 孝 氏	
10/26 日	9:00 13:00	現地研修 「国史定特別史跡 一栗谷頼朝氏遺蹟・博物館見学」 一栗谷頼朝氏遺蹟博物館学芸員 藤 田 寛 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	14:00 15:30	講 義「第3部と和歌」 東京大学文学部教授 藤 田 寛 子 氏	
	16:00 17:00	特 別 公開 大河ドラマ「光る君へ」の巻 21巻、19世紀以降の巻 日本書院 諫 山 恵 実 氏・朧 谷 氏	
	18:30 20:00	座 席「紫式部講座」	
10/27 日	9:00 10:30	講 義「紫式部の地方観」 京都大学文学部教授 藤 田 寛 子 氏	ホテル クラウンヒルズ 武 生
	10:45 12:15	原文朗読「源氏物語と嵯峨・西海篇」 京都府立大学文学部学芸学術学術教授 山 本 淳 子 氏	
	12:30 13:00	閉 講 式・挨拶	





武生公会堂記念館 展示企画

常設展

紫式部と越前国 4月19日～9月23日
古代の越前国 9月25日～

紫式部・源氏物語関連館蔵品展

『源氏物語』から見る平安貴族の日常 4月26日～6月23日

紫式部・源氏物語関連企画展

(1)『源氏物語』が彩る工芸 7月26日～9月1日
(2)紫式部の時代のほとけさま 10月25日～11月24日
(3)源氏絵と浮世絵 1月31日～3月9日

武生公会堂記念館企画公募展

2024日独交流神和紙展 12月8日～12月22日

展示会企画(市内)



越前和紙の里 紙の文化博物館

美しき紙 装飾料紙の世界 4月10日～6月24日

- ・装飾技法を駆使した国宝『西本願寺本三十六人家集』抄出複製
- ・越前和紙の料紙を紹介
- ・千年の時を超え受け継がれる装飾技法と高美な紙の美しさ

草双紙のなかの源氏物語 修紫田舎源氏 5月22日～7月1日

- ・江戸時代後期に庶民から人気を得た草双紙「修紫田舎源氏」を通し時代を超えて親しまれる「源氏物語」を紹介

Yumi Katsura和紙ドレス展 10月16日～12月9日

- ・「WASHI - MODE」コレクションの中から選りすぐりの逸品
- ・色褪せることなく伝統的な美しさと和紙の可能性を秘めた和紙ドレスの数々を展示

「神様からの贈り物」2024 10月4日～12月23日

- ・新しいカタチで和紙に親しむ
- ・越前和紙縁起細工の作品を展示

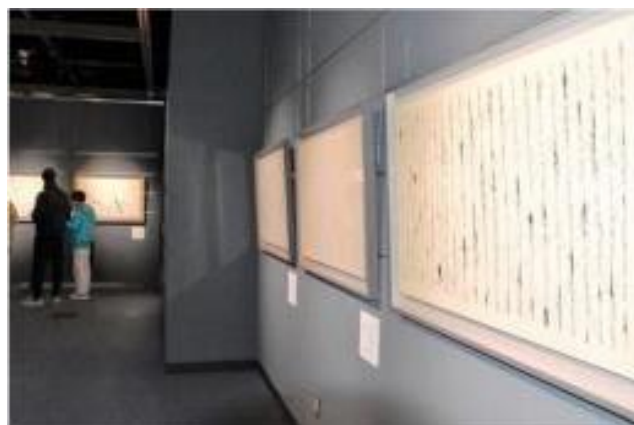


写真展 平安の救いの姿

- ・開催期間 2023年11月30日～5月7日
- ・開催場所 福井県立歴史博物館

石川九楊 源氏物語書卷五十五帖 めくるめく書のシンフォニア

- ・開催期間 12月7日～3月9日
- ・開催場所 福井県ふるさと文学館





北陸新幹線福井・敦賀開業記念特別展

・開催期間

- I 源氏物語と戦国武将 3月9日～4月14日
- II 馬駆ける戦国の庭 4月27日～5月26日
- III 蹴鞠と庭が語る戦国 7月13日～9月1日

・開催場所 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館





北陸新幹線福井・敦賀開業記念特別展

- ・ 開催期間 10月5日～11月4日
- ・ 開催場所 福井県立若狭歴史博物館
おおい町立郷土史料館
おおい町暦会館





越前和紙のぬくもりと平安の息吹（東京開催）

・開催日 5月12日

根本氏の講演、地元で伝統産業を盛り上げるクリエイターや若手職人によるトークセッションを開催
平安から続く書物や和紙の魅力、伝統産業の今後の可能性を探る

白川文字学講演会（福井県立図書館）

・開催日 6月29日

根本氏が白川文字学によって気付かされたこと、根本氏の人生にどのように活かされているかを講演





紫式部を学ぼう展

大河ドラマ「光る君へ」の主人公、紫式部 福井との関わりを学ぼう

・開催日 11月2日～12月14日

県内主要ショッピングセンターで、福井と紫式部の関わりを学ぶ
パネル巡回展示

NHK福井局によるドームシアターの出張展示



スペシャルトークショーin敦賀



大河ドラマ「光る君へ」スペシャルトークショーin敦賀

- ・ 開催日 11月17日
- ・ 県内外から約560名が参加

ゲストとして、岸谷五郎さんが登壇
松原客館のシーンなど、越前編の放送秘話





越前国府の「現地」物語

- ・ 紫式部に関連する商品を集めたパンフレット(掲載38店舗)

紫式部の旅に絡めた機運醸成

- ・ 国司行列見学ツアー
- ・ インスタグラムフォトコンテスト



観光ボランティアガイド

- ・ 17,000人以上の方に案内
- ・ 越前市の歴史や伝統、観光資源をガイド



	令和6年度	件数	人数
全体		700件	17,462人
	紫式部公園	369件	9,435人
	岡太神社・大瀧神社	253件	7,022人



「ふくい観光案内所」、県外商談会・出向宣伝でPR

- ・ポスター掲示、のぼり設置、各種パンフレット配布など

県公式観光サイト「ふくいドットコム」でPR

- ・特集記事、紫式部モデルコース、ふく旅ライター記事などを新たに掲載
- ・大河ドラマ館や紫式部ゆかりの地、関連イベント等を紹介

ツアー 291「越前たけふで“しきぶきぶん”ツアー」の実施

- ・開催日 6月22日
- ・大河ドラマ館、紫式部公園、本興寺などを巡るバスツアー(県内外から参加)

平安ゆかりのキャラクター利用申請

- ・承認件数 163件 2023.2.14～



VTuber



Xフォロワー 3,180アカウント

YouTube
チャンネル登録 8,120人
(3.10時点)



Xフォロワー 1,290アカウント

YouTube
チャンネル登録 4,200人
(3.10時点)

市公認VTuberが活動を継続中



出演実績 (一部抜粋)

越前市サマーフェスティバル花火大会(8月15日)

・花火大会実況&ピンゴ大会

クマンドウデジタルアライブ2024(9月15日)

・インフォメーション担当

鯖江市ドリームチャレンジ夢の応援「出前授業」(2月27日)

・VTuber活動について授業

越前市の地酒「かたかた」の限定版ラベルの揮毫





俳優・岸谷五朗さん 「越前国府 千年のときをつむぐ大使」に就任！

- ・ 委嘱日 11月18日
- ・ 越前市の歴史や文化、伝統といった魅力発信を目的
(特に越前国府や、越前和紙に関すること)
- ・ 越前和紙製の委嘱状と名刺を贈呈



ロケーションジャパン大賞



紫式部ゆかりの3市×「光る君へ」が 部門賞:支持率部門(行ってみたいロケ地)を受賞

- ・ 地域振興に貢献した映画やドラマ作品と、ゆかりの地域を表彰するもの
- ・ 2万人のアンケートで高評価を獲得(「行ってみたいロケ地」など)
- ・ 大河ドラマ初の3市が連携協定を締結し、情報発信や周遊企画を実施してきた点が評価を受けた



<制作統括 内田ゆき氏コメント>

大河ドラマ『光る君へ』は、越前市・大津市・宇治市はじめ、関連する地域の方々もチームの一員です。

皆さまのご支援なしには充実した制作と放送は叶いませんでした。番組を見て歴史と文化に興味を持ち、訪れてくださる方が増えたことは、制作者として非常に光栄に存じます。

それが契機となって、さらなる魅力の発信につながることを願っております。



BSよしもと出演

麒麟川島軍団で旅に行くならどやさ！

－ 紫式部が繋いだ3つのゆかりの地 －

・放送日 3月23日(日)11:30～12:00

・出演者

麒麟 川島明(宇治市観光大使)

天津飯大郎、ネゴシックス、ムーディ勝山、若井おさむ

宇治市長 松村淳子、越前市長 山田賢一、大津市長 佐藤健司

・内容

大河ドラマ「光る君へ」を契機に注目された、紫式部ゆかりの地である宇治市、越前市、大津市の魅力を市長がアピール。

川島軍団で旅行で訪れる場所を決める番組

・視聴方法

BSよしもと(BS 265ch)で無料視聴が可能(登録必要)

広告換算費

広告換算費 33億円 (R5.12月～R7.2月末まで) ※大河ドラマ本編放送、雑誌・地方紙等除く

露出媒体	広告換算費	備考
テレビ	31億260万円	全国 40万円/秒 (早朝・深夜の場合 10万円/秒) 北陸三県 1.2万円/秒 (早朝・深夜の場合 0.3万円/秒) 等
SNS(X・YouTube) WEB	1億9600万円	X 1円/1ページビュー YouTube 10円/30秒をもとに単価を算出

計 32億9800万円



光る君へ越前紀行 5/31放送



NHK短歌(福井公開収録) 12/28放送



日本テレビZIP 9/2～9/6の各日5回放送



越前編PV&トークショー 6/21放送



出張!なんでも鑑定団 7/23放送



BS日テレ 1/27放送

※他多数



吉高由里子さんのX投稿

観光消費額（R6-R5／3月～12月比較）

観光客入込数 52万人増 1,826千人(R6) – 1,301千人(R5)

観光消費額 14億円 59億円(R6) – 45億円(R5)



3～12月	入込客数(千人)※		実人数(千人)※		観光消費額(千円)※	
	R5	R6	R5	R6	R5	R6
県内	905	1,029	572	650	1,860,866	2,117,071
県外	287	683	85	259	531,637	1,623,963
うち宿泊	110	113	90	92	2,129,766	2,180,336
計	1,301	1,826	746	1,001	4,522,268	5,921,370
	※KDDIロケーションアナライザーを参考に試算		※平均訪問観光地点数（宿泊旅行統計調査） 県内客:1.583地点 県外客:2.270地点 平均宿泊日数(R5・R6):1.22泊・1.23泊		※平均観光消費額 県内客:3,256円 県外客:6,279円 宿泊客:23,642円	

(参考)観光客入込数（1月～12月）

(人)

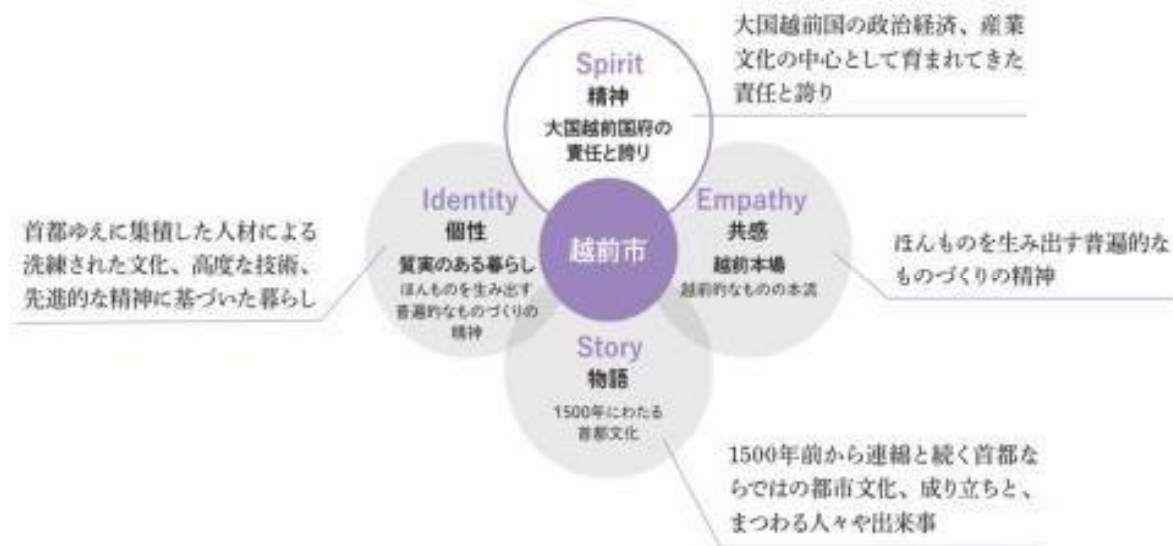
施設	R4	R5	R6
紫式部公園・紫ゆかりの館	89,117	156,635	398,840
大河ドラマ館	-	-	161,614
越前和紙の里・岡太神社・大瀧神社	129,581	123,911	157,950
計	218,698	280,546	718,404

紫式部プロジェクト／今後の展開

紫式部プロジェクトを通じて、本市が「紫式部が暮らした地」として全国的に知られ、1500年の歴史を持つ越前和紙や越前国府といった豊かな伝統文化に改めて注目が集まった。

その効果をさらに高めていくため、紫式部や源氏物語の世界的評価、越前鳥の子紙のユネスコ無形文化遺産登録、さらには、来年に予定されている「書道」のユネスコ無形文化遺産登録という世界的な評価の高まりを活かし、本市の伝統文化を世界に発信していく。

【紫式部が暮らした越前国府を軸とした地域ブランド化】



▲福井経済同友会 提言書より

紫式部プロジェクト／今後の展開

「世界の文化創造都市ECHIZEN」を目指して

1. 紫式部と源氏物語の世界的評価

紫式部／ユネスコが選ぶ「世界の偉人100選」

源氏物語／世界最古の長編小説の1つで、世界の文学や芸術に影響

2. ユネスコ加盟・登録の国際的な評価を足掛かりに

2025年 5月 ユネスコ創造都市ネットワーク加盟承認

2025年12月 「越前鳥の子紙」 ユネスコ無形文化遺産追加登録

2026年11月 「書道」ユネスコ無形文化遺産

3. ここにしかない本物の技と人に出会い、交流が生まれる特別な場に

4. 海外メディア等を通じた世界発信



▲福井新聞(R7.2.11)



▲福井新聞(R7.3.4)



▲越前の伝統工芸